

令和4年度三田公民館事業計画

1. 地域の状況

三田公民館は市域の東部に位置し、船橋市立三田中学校体育館と併設されており、建物は1階が公民館、2階が中学校の第1体育館で昭和50年4月開館した。

対象地域は三山・田喜野井全域4.55km²で、対象人口は令和3年10月1日現在16,645世帯、34,998人である。周辺には、千葉県指定無形民俗文化財である「下総三山の七年祭り」を行う二宮神社など歴史ある神社仏閣や巨樹古木が存在する。管区には小学校3校、中学校2校があり、静かな住宅街の中に位置する地域に定着した公民館である。

2. 地域の課題

- (1) コロナ禍において、必要最小限の外出のみの市民が多くなり、特に高齢者は体力の衰えなど健康面の低下が懸念される。
- (2) 少子化、核家族化、社会の急激な変化に伴う子育て環境の変化により、家庭教育力の低下が懸念される。
- (3) 台風や大雨など公民館での避難所開設等も増えており、地域の防災意識を高める必要があると考える。
- (4) 管区の高齢化率は令和3年10月1日現在29.6%であるが、平成30年の28.9%より上昇しており、高齢化が進んでいる状況である。また、買物困難地域として移動スーパーの巡回や公共交通不便地域としてワゴン車の運行が行われている地域である。

3. 重点目標

- (1) コロナ禍においても健康な生活が送れるように、身体づくりを図れる事業を提供する。三田寿大学などでも、健康な身体づくりをテーマに体操等を取り入れる。
- (2) 地域団体、児童ホーム、学校、ボランティア等と連携・協力を図り、家庭教育の向上や子育て中の保護者同士の交流の場づくり等の子育て支援、また青少年の体験学習や居場所づくり等健全育成に努める。
- (3) 地域防災の拠点として災害時には避難所となることから、防災意識の向上を図る学習機会を提供する。
- (4) 高齢者が健康維持、健康促進や生きがいを図れる事業を実施し、参加者同士の交流の場を提供して、高齢者が元気な地域づくりに努め、そして孤立化を防ぐ。
- (5) 地域の課題や今日的課題等、多様化するニーズなどのテーマに取り組み、事業を実施する。